



暴走バス

ANAホーチミン支店 大和田 哲也

ベトナム？あまりイメージが沸かない、あるいはベトナム戦争を思い浮かべる方も多いかと思います（私も赴任前はそうでした）。戦争終結後30数年経った今、ホーチミンの街中では殆どその影を見ることはありません。

道路は車であふれ返り、渋滞もしばしばです。車の数もさることながらバイクの数も半端ではありません。一般道路では車線が2つあれば一車線はバイク専用となるぐらいです。

道を渡るときも慣れないと一日経っても渡れないぐらい、ひっきりなしにバイクの波が押し寄せてきます。よく見ると全員ヘルメットをかぶっています。聞いた話では一昨年法改正でヘルメットの着用が義務付けられたとのこと、法律施行日以降ほぼ全員がヘルメットを着用したそうです。なぜなら、「ヘルメット代よりも罰金の方が高いから」です。なるほど、ベトナムの人々は合理的かつ経済観念が発達しています。

バイクの台数だけではなく、一台に乗っている人数にも驚かされます。そう、家族で乗っているのです。車なら4人乗りは当たり前ですが、こちらはバイクが車

代わり。100CC前後のバイクに夫婦子供2人の計4人乗っていることなど珍しくありません。さすがにスペースは広くありませんから、子供が両親の間に挟まってかわいそうに身動きが取れなくなっている様子を想像してみてください。



しかしそんなバイクにも天敵がいます。バスです。ベトナムではバスは安い（一回20円程度）のですが凶暴で、けたたましいクラクションを鳴らしながら平和な家族4人乗りバイクすらお構いなしに蹴散らして暴走します。人呼んでこれを暴走（ぼうそう・房総とは無関係です）バスと言って恐れられています。

ただ、そんなせせこましい風景ばかりではありません。その辺りの商店の店頭では地元の人々はのんびりと過ごしています。バイクの上で器用に横になって寝ているおじさん、道端で銭湯のようなプラスチックイスに腰掛け、オープンエア（ただの歩道）のレストランで昼からくつろいでいる女性の姿も良く見かけます。

ベトナムといえば、やはりベトナム料理でしょう。こちらに来て驚いたことは、ベトナム料理がとても美味しいこと。エスニックなイメージを持たれるかもしれませんが、基本は辛くなく香料も控え目なので、日本人の口によく合います。お米もコシヒカリが取れますし生野菜も豊富なため、一層合うと思われれます。また意外かもしれませんが、ベトナム人は鍋が大好きです。暑い屋外で鍋をつつく、これが暑さを乗り切る秘訣かもしれませんね…。

ベトナムは今急成長を遂げています。まさに緩急を体験できる国かもしれません。気候も「すごく暑い」か「普通に暑い」かのどちらかだけです。食事に買い物に癒しと、日常を忘れる(?)にはとても良い国です。皆様是非一度ANAでお出かけください。

